

選挙の仕組みや

一票の重さ理解

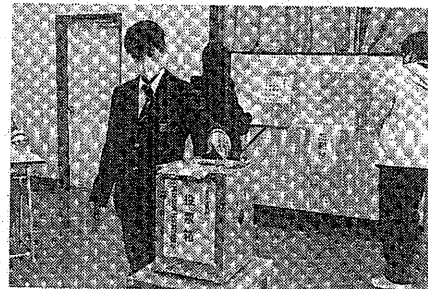
白糠高で出前講座

【白糠】道選挙管理委員会事務局釧路支所による「選挙啓発出前講座」が10月26日、白糠高校で開かれ、1年生21人が講話や模擬投票を通じて選挙の仕組みや一票の重さに理解を深めた。昨年に続き2回目。

同支所職員が選挙の概要や選挙運動のルールを説明。「まずは投票に行くことが大事」とし「投票する時は、選挙公報や選挙運動など有権者に向けて発信される情報をよく見て決めて」と訴え、実際に選挙で使われる記載台や投票箱を用いて模擬投票を行った。

生徒は「雇用所得増加」「子育て充実」「高齢者福祉の充実」「犯罪、災害に強い町」を公約に掲げる4人の候補者から一人を選び、一票を投じた。開票では「雇用所得増加」を掲げた候補者が13票を集め、ト

模
擬
選
挙
で
一
票
を
投
じ
る
生
徒



ップとなった。

工藤優希さん(16)は「模擬選挙は分かりやすく楽しく学ぶことができた。まだまだ知らないことも多いので、これから勉強していきたい」と話していた。

(森崎博史)